

日本広報学会会員 各位

2019年7月22日(第1報)

9月11日(改訂版)

日本広報学会

理事長 柴山慎一

日本広報学会 第25回研究発表全国大会 開催のご案内

主 催 : 日本広報学会
開催校 : 名古屋経済大学 犬山キャンパス
後 援 : 犬山市、犬山市教育委員会、犬山商工会議所、犬山市観光協会
協 力 : 経済広報センター、日本パブリックリレーションズ協会、
公共コミュニケーション学会、地域活性学会

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、第25回研究発表全国大会は、以下のご案内の通り10月19日(土)、20日(日)の日程で、愛知県犬山市の名古屋経済大学犬山キャンパスにて開催いたします。各分野の碩学の諸氏、教育・研究機関に属する若手研究者、企業や自治体等専門組織に在籍する実務家・専門職のみなさまに奮ってご参加・ご発表をいただきたいと存じます。

1. 統一論題「繋がるチカラが、地方をツクル～地方創生を切り開く英知を体感する～」

<趣旨>

新しい時代・令和が幕を開けた2019年。政府が推進する地方創生は、今や様々な潮流を生み出し、多くの目が地方の活性化策に注がれています。その流れを俯瞰すると、情報発信力やネットワーク力など、広報が持つチカラを活用して活性化を加速させる姿が間々見て取れます。今回の研究大会では、地方活性化の一現場でもある地方都市・犬山で、地方創生に見る広報のチカラを再認識するような機会にできればと、名古屋経済大学での研究大会を開催する運びとなりました。

名古屋経済大学が位置する犬山市は、日本最古の木造建築の天守閣を有する国宝犬山城をはじめ、数多くの名所旧跡を有する観光都市です。実は10年ほど前まで、観光都市としての賑わいがさびれ、城下町は住居混在で生活道路と化し、店舗は閑古鳥が鳴く状況にありました。これを観光協会や商工会、自治体、私鉄、そして地元住民が共同して活性化策を練り、今では土日など犬山城が連日入城制限を行うほど、賑わいを取り戻しています。ここに至った取り組みには、地元経済界が立ち上げた城下町再生プロジェクト、観光協会や私鉄が仕掛けた広報作戦などがあり、最近ではメディア露出も激増しています。

犬山は観光を基軸とした地方活性化事例ですが、全国で見れば、数多くの仕掛けが動いています。グルメ、IT、ブランディング、大学の地域連携・・・ここに共通する、人を引きつける広報力、人と人をつなげるネットワーク力を、今大会のテーマとすることいたしました。言うまでもなく、本テーマは、決して地方自治関係者向けに限定したのではなく、広報の持つチカラの活用方法を社会全体で共有することを目指すものです。

統一論題シンポジウムでは、様々なテーマで地方を活性化させる仕掛け人を招き、事例を共有することを通じて、具体策から英知を導くアプローチを提案します。また今回は、交通至便ではない地方大学での開催をメリットに変えるべく、地方都市の観光戦略紹介とその現場見学ツアーをセットで提供します。新時代最初の秋の週末、皆様と犬山城下町でお目にかかれたいことを楽しみにしております。

2. 会期 2019年10月19日(土) 10:30～20:00(懇親会を含む)

20日(日) 8:50～13:20(その後犬山城下町でのフィールドセッション)

3. 第25回大会の特徴

- 地方活性化の先端事例が一気に学べる！ 実例の学びと現場見学(犬山城も無料入城)をセット提供！
- 大好評ランチョンセッション、今年も開催！ 懇親会には名古屋メシ&地元食材のマル秘メニューも？
- 非学会員向けに、ランチョンセッション(無料弁当付き)&統一論題シンポ 1,000円格安プラン設置！

4. 会場 名古屋経済大学 犬山キャンパス

〒484-8504 愛知県犬山市内久保 61-1

※会場棟となる7号館の大会受付までお越しください

5. 交通案内

◎名鉄小牧線「田県神社前」駅下車 スクールバス7分

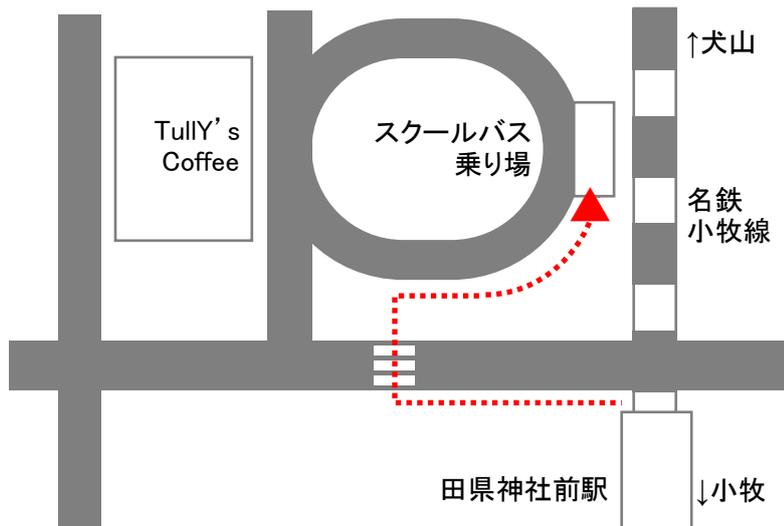
名古屋駅→名鉄犬山線(快速特急25分)→犬山駅→名鉄小牧線(普通10分) → 田県神社前駅

名古屋駅→地下鉄(東山線5分)→栄駅→地下鉄(環状線9分)→平安通駅→地下鉄線(上飯田線23分) → 田県神社前駅

中部国際空港駅→名鉄空港線(ミュースカイ55分)→犬山駅→名鉄小牧線(普通10分) → 田県神社前駅

※お車でのご来学も可能です。学内駐車場をご利用いただけます <http://www.nagoya-ku.ac.jp/access/>

◎田県神社前駅スクールバス乗り場



- ※田県神社前駅周辺には、待機タクシーがいません
- ※コンビニエンスストアも駅前にはありませんので、飲食物など、必要に応じて事前にご用意ください
- ※学内の食堂およびコンビニエンスストアは、土日はクローズです
- ※自動車での来学を希望される方は、来客用駐車場(北門すぐ)をご利用ください

大学発	時刻	田県発
特別ダイヤ		特別ダイヤ
20 50	8	27
08 23 40	9	00 15 30 47
07 20 32 48	10	14 27 40 55
05 20 35 50	11	12 27 42 57
05 20 35 50	12	12 27 42 57
05 20 50	13	12 27 57
05 35	14	12 42
20 50	15	27 57
25 35 45 55	16	32 42 52
10 20 40	17	02 17 27 47
00 15 20 35	18	07 22 27 47
10 40	19	17 47
10 10 25	20	17 17 32

10/19
土曜日

大学発	時刻	田県発
特別ダイヤ		特別ダイヤ
20 38 50 53	8	20 27 45 57
05 08 20 35 50	9	00 12 15 27 42 57
07 20 32 48	10	14 27 40 55
05 20 35 50	11	12 27 42 57
05 20 35 50	12	12 27 42 57
05 25 40 40 55 55	13	12 32 47 47
10 25	14	02 02 17 32
20 50	15	27 57
10 40	16	17 47
10 40	17	17 47
15	18	22

10/20
日曜日

◎宿泊について

- 大学周辺での宿泊は、犬山駅・小牧駅近くにビジネスホテルがございますが、部屋数が多くありません。
- 犬山城下の名鉄犬山ホテルは、2019年8月より改修工事に入るため宿泊ができません。
- 宿泊地は、ホテルが多い名古屋駅周辺をお勧めいたします。
- 昨今、ホテル宿泊予約が取りにくくなっているようです。早めのご予約をお願い致します。

6. 全体スケジュール (※教室は変更になることもあります)

10月19日(土)【1日目】

- 10:30 受付(7号館)
- 11:00 開会式(7号館5階 7E1)
- 11:10 ポスターセッション(7号館5階 廊下フロア)
 ※発表者は 11:10~12:10 の間は説明時間としてご参加ください
 ※発表者は 11:10 から 1 分 PR を行っていただきます
- 12:30 ランチョンセッション(7号館5階 7E1)
 「魅力度ブランディング調査 2019 にみる今年の傾向と要因分析」
 電通パブリックリレーションズ(企画・スポンサード)、無料弁当付き、事前申込み必要
- 13:30 統一論題シンポジウム(7号館5階 7E1)

→基調講演①「DMO が地域マーケティングを変える」(仮)

一般社団法人せとうち観光推進機構エグゼクティブマネージャー 村木智裕氏

略歴:日本のDMO(Destination Management Organization:観光物件、自然、食、芸術・芸能、風習、風俗など当該地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域作りを行う法人)を牽引するせとうち DMO のCMO を務める。広島県庁にて財政課、県議会議長秘書等に従事。2013 年から「広島県瀬戸内海の道プロジェクト・チーム」に所属し、せとうち DMO の設立を担当、経営企画・海外プロモーションに従事する。

<https://www.adobe.com/jp/insights/181201-setouchi-dmo-digital-marketing.html>

→基調講演②「人と人のつながりが地方創生に果たす役割～官民パートナーシップによるまちづくり」

釜石市オープンシティ推進室長石井重成氏

略歴:1986年愛知県西尾市出身。ICU 卒業後、経営コンサルティング会社を経て、東日本大震災を機に岩手県釜石市へ移住。地方創生の戦略立案や官民パートナーシップを統括。半官半民の地域コーディネーター・釜援隊の創設、グローバル金融機関と連携した高校生キャリア教育、広域連携による移住・創業支援、シェアリングエコノミーの展開などを通じて、人口減少時代の持続可能な復興まちづくりを推進。2018年5月にSDGsを踏まえ、地方版総合戦略・オープンシティ戦略を改訂。内閣官房シェアリングエコノミー伝道師、総務省地域情報化アドバイザー、一般社団法人地域・人材共創機構代表理事、青森大学客員准教授。本年5月に『ローカルキャリア白書』を発刊。

<https://iwatewakamono.net/archives/1360>

15:30 統一論題パネルディスカッション(同)

[地方創生に大学が果たす役割]

→三重大学副学長(地域創生担当) 松田裕子氏

略歴:三重県津市出身。東京大学大学院農学生命科学研究科で博士(農学)を取得、専門は地域政策。農林水産省農林水産政策研究所、三重大学地域戦略センター等を経て、2015年地方創生人材支援制度により三重県南伊勢町に2年間出向。2017年より現職、三重大学地域拠点サテライトの設置・運営、行政人材育成プロジェクトの企画・実施等を担う(伊勢志摩サテライト長、地域創生戦略企画室プロジェクト部門長)。

→小樽商科大学アドミッションセンター准教授 野口将輝氏

略歴:専門は行政広報、シティプロモーション。アドミッションセンターの専任教員としては入学者選抜および入試広報を専門とする。大学卒業後、金融機関勤務を経て、2014年北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院にて修士、2017年に博士号を取得。2015年日本学術振興会特別研究員(DC2)、2017年5月より現職。研究フィールドは小樽市、ニセコ町、東川町、東神楽町等。北海道ニセコ町まちづくり基本条例第4次改正検討外部委員、同町広報聴取検討会議委員。

→名古屋経済大学犬山学研究センター長 中村真咲氏

略歴:名古屋大学大学院法学研究科講師

2008年 専門はモンゴル憲法史、モンゴル土地法制、近代北ユーラシアの法と社会。名古屋大学大学院法学研究科・特任講師、同 PhD 登龍門推進室特任准教授を経て、2017年より名古屋経済大学経営学部教授、犬山学研究センター長。

17:30 学会賞表彰式(同)

18:00 懇親会(コミュニティプラザ)

※名古屋メシでおもてなし? 地酒あり? 地元食材のマル秘メニューって何?

10月20日(日)【2日目】

- 08:50 受付(7号館)
- 09:20 自由論題 口頭発表(7号館4階 7D1~7D4)
 ※1組30分(発表20分・質疑応答8分・交替2分)
- 09:20 ポスター展示(7号館5階 廊下フロア)
- 12:10 ランチョンセッション(7号館5階 7E1)
 ※昼食は手配弁当(要予約)または各自持参

	[犬山にみる観光再生のリアル]
	→犬山市長 山田拓郎氏(ショートメッセージ)
	→犬山市観光協会 後藤真司氏
	→名古屋鉄道株式会社宣伝担当課長 湯田晃久氏
12:50	閉会式(7号館5階 7E1)
	※閉会挨拶・次回開催校挨拶
13:20	移動(名古屋経済大学→犬山城下町)
14:20	フィールドセッション(犬山城下町)
	[観光再生の現場を歩く～犬山城&城下町散策・ガイド帯同]
	※自由参加、犬山城ほか3施設の無料入場特典付き
15:30	現地流れ解散

7. 自由論題の研究発表について

発表ご希望の方は、別紙「日本広報学会第25回研究発表全国大会発表申込書」に必要事項をご記入の上、学会事務局にご提出ください。また、下記を厳守願います。

- (1) 口頭発表は2日目10月20日(日)となり、発表20分+質疑応答8分の予定です。
- (2) 研究発表の申込期限は8月18日(日)です(必着、期限厳守)。
- (3) 書式(P6.)にて発表テーマと要旨400字以内にまとめ、メール添付またはFAXで提出願います。
- (4) 本大会での発表は、他学会も含めて未発表のものに限ります。学会誌『広報研究』への論文等投稿とは直接関係ありませんので、『広報研究』投稿と同一テーマの発表も差し支えありません。
- (5) 発表用のPCを用意します(Windows7、MSOffice2013)が、ハンドアウトは各自印刷・持参ください。
- (6) 発表の可否については大会運営委員会で決定し、ご本人に連絡します。
- (7) 大会で優れた発表をされた報告者に対しては、学会誌への投稿をお願いする場合があります。

8. ポスターセッション発表について

- (1) A0判ポスター(W841mmH1189mm)を貼る展示スペース(壁面)を用意します。
ポスターは養生テープを使って貼り付け可能な軽量用紙で作成ください。画鋲は使用できません。
- (2) ポスターセッション発表の申込期限は、8月31日(土)です(必着、期限厳守)。
- (3) 書式(P7.)にて、発表テーマと要旨400字以内にまとめ、メールまたはFAXにて提出ください。予稿集に発表者、発表テーマ、要旨がそのまま掲載されます。
- (4) ポスターは各自ご準備ください(PPTなどでも構いません)。事務局、大会運営委員会では印刷いたしません。
- (5) ポスターは第1日目10月19日(土)11:00までに掲示を行ってください。ポスター発表の口頭説明は、第1日目11:10-12:10で開催しますので、立ち会いの上、説明をお願いします。その場で会員の皆様に投票を行っていただきます。投票結果は、第1日目の懇親会で発表いたします。
- (6) 2018・2019年度「研究事例・交流部会」「学会助成研究」の代表者の皆様には昨年同様、ポスターセッションでの研究報告(結果報告又は経過報告)をお願いします。
- (6) 内容等により、発表できない場合もありますので、あらかじめご了解ください。

9. 予稿について

発表予定者には予稿(発表予定原稿)を作成していただきます。予定者には、事前に執筆要領を送ります。

- (1) A4、2頁または4頁(図表、注、文献を含む)。完全原稿を提出すること
- (2) 予稿の提出期限は8月31日(土)です(必着、期限厳守)
- (3) ポスターセッション発表の場合は、申込時の要旨が掲載されます

10. 口頭発表、ポスター発表の発表者の応募資格

口頭発表に応募される方は、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- (1) 2019年7月10日現在、日本広報学会の会員、法人会員代表、法人会員登録者。ただし、2018年度までの年会費に未納がないこと

(2) 2019年9月1日までに日本広報学会の入会申込書を提出し、2019年度分の会費を納入した者
 ※ポスター発表は学会員以外も応募可。学部、修士課程の学生、企業・実務家の方の応募、歓迎します

11. 大会の参加費・懇親会費

(1) 参加費・懇親会費：納入期日：9月30日(月)までの前納と、それ以降および大会会場における当日納入を選択してください。

		前納 (9月30日まで)	10月1日～当日
会員・非会員 予稿集ダウンロード権利付	参加費	5,000円	6,000円
	懇親会費	5,000円	6,000円
非会員	10/19ランチョンセッション &統一論題シンポジウム 参加の特別プラン	1,000円	1,000円
学生会員 予稿集ダウンロード権利付	参加費	2,500円	3,000円
	懇親会費	2,500円	3,000円
会員・学生会員・ 非会員	10月20日(日) お弁当	1,000円 要事前申込み	1,000円 要事前申込み

(2) 振込み先は以下の通りです。

銀行振込：みずほ銀行丸之内支店／普通口座 2453666／口座名義 日本広報学会
郵便振替：口座番号 00150-6-540368／加入者名 日本広報学会
 ※複数名での同時振込は、明細が不明になりますので、ご遠慮願います。
 ※法人会員代表でない登録者のお振込みに際しては、個人名を先頭に記入(入力)してください。
 ※振込手数料は本人のご負担とさせていただきます。

(3) 領収書：希望者には当学会発行の領収書(個人会員は個人名、法人会員代表・登録者は法人名)を発行しますので、事務局までお知らせください。

(4) 予稿集は、学会HPにて電子ファイル(PDF)で配布します。各自ダウンロードしてください。PDFのパスワードは別途ご案内いたします。紙で印刷したものをご希望の方は、1部1,000円で販売します。

12. その他

- ・大会当日は、学内のコンビニエンスストアおよび学生食堂はクローズとなります(飲料の自販機は稼働しています)。また最寄り駅である「田県神社前」駅周辺には、コンビニエンスストアがありません。飲食物など、ご入り用の方はお手数ですが事前に購入の上ご来学ください。
- ・10月19日(土)のランチョンセッションは、(無料)お弁当付きです。用意の都合上、必ず、あらかじめ第25回研究発表全国大会<参加>申込書にて事前に申し込んでください。
- ・10月20日(日)のランチョンセッションは、お弁当の事前申込みを受け付けます(こちらは有料となります)。必ず、あらかじめ第25回研究発表全国大会<参加>申込書にて事前に申し込んでください。なお当日の販売受付はありません。
- ・大会プログラム・パンフレットの印刷・事前配布はしません。プログラムの詳細はホームページ、メールでお知らせします

※今回のお知らせ以降は、変更を含め、当学会ホームページで最新情報を掲示します。

ホームページアドレス：<http://www.jsccs.jp/>

<本件のお問い合わせ・ご連絡先>

日本広報学会事務局

〒169-8518 東京都新宿区高田馬場 1-25-30

TEL 03-5283-1104 FAX 03-5283-1123

E-mail: jscsty@gamma.ocn.ne.jp